

も相當進捗しましたけれども未だに成立は致しません、何分湖北省は多數の政事家を出して居りますから往々議論百出實際と遠ざかるやうな形勢が見えますので私は官民兩方面に多數の友人を持ちまする關係から種々調停の勞を取りつゝあるのでございます。尤も東洋方面に於ける製鐵業は近來不景氣のどん底に沈んで居りますから遽かに此鑛山を開掘しても販路はとても急には得られまいと思ふのですが、只鑛區の所有は今の内完全に決定して置いた方が宜しからうと考へます。

銅嶺山 大冶の下流右岸約二十五哩の江西湖北兩省の境界附近にある鐵山でございます、磁鐵鑛で露頭鑛量約一千萬噸あると申します、現今公司の舊株主某の所有となつて居ります、此附近には尙多數の鐵山がありますからして之を一會社にまとめ稼行すれば宜しからうと思ひます。要するに支那に於て二三千萬弗の大資本を有する漢冶萍公司の如き株式會社は此後とても容易に出来る見込はなからうと思ひます、故に公司は大冶を中心として此附近の鐵鑛は當然公司の手に依

石炭輸出港としての青島の價值に就て

て之を處置するの覺悟がなくてはなりません、又北京及地方官民も支那に於ける此種の公司を保護し之を發展せしめ以て國利民福を企圖せねばならないものであらうと思ふのです。濫りに人民の事業を猜疑し或は政争の具に供し折角勃興しかつて居ります鑛業を妨害し之を挫折せしめ又は萎縮せしめなどすることがありましては、善隣の爲に最も之を惜むものでございます。我邦人に在つても唯口にのみ同文同種日支親善を稱ふるばかりでなく、心から支那人を敬愛し共存共榮の見地から支那人と握手せねばなりません、往々一攫千金の感を以て支那に來るものは胸中に國家なく將來の大局を打算するの明察を缺き唯自己の私慾にのみ執着し眼前姑息の策に齷齪し遂に何事も纏め得ざるのみならず折角多年築き上げられた親善さへも破壊するに至るのでございます、支那に臨み支那人相手に仕事を爲さんとするものは深く鑑み大に警戒注意する所がなくてはなりません。(五月二日稿)

千 住 直 次

(要旨) 本邦石炭埋藏量の貧弱にして餘命幾程もなき現状

を述べて將來我國の石炭補給策としては帝國位置の關係上、是非共之を支那より輸入するの必要ある可く、就中青島は此の意味に於て最も囑目に値することを述べんとす。

我國に於ける石炭埋藏量は去る明治四十二年農商務省の調査發表せし所に依れば大體左の如し。

中生層の石炭 五千百萬噸

長門の大嶺、津布田、肥後の天草、其他越後の大野、谷村、丹後の舞鶴、備中の成羽等の諸炭田の埋藏量の合計

第三紀層の石炭

樺太	十三億六千二百萬噸
北海道	二十六億七千五百萬噸
本州	五億八千二百萬噸
九州	二十九億千六百萬噸
臺灣	三億八千五百萬噸
朝鮮	八千百萬噸
合計	八十億五千百萬噸

其の後歐洲戰亂時代石炭礦業の勃興に依り臺灣朝鮮樺太等の調査も進みたる結果約十餘億噸の増加を算するに至りたるため、其の後探掘せられたる炭量約三億噸を差引き大體に於て本邦埋藏炭量を約九十億噸と看做さん、今之を試みに一九一三年萬國地質學會に於て發表されたる世界各國の石炭埋藏量と比較するに其の貧弱なること左表の如し。

世界各國埋藏炭量

(單位百萬噸)

各國	各國埋藏炭量	百分比
米國	三兆八千三百八十六億五千七百萬噸	五一、八〇
加奈陀	一兆二千三百四十二億六千九百萬噸	一六、七〇
支那	九千九百五十五億八千七百萬噸	一三、五〇
獨逸	四千二百三十二億五千六百萬噸	五、七五
英國	千八百九十五億三千三百萬噸	二、五五
西比利亞	千七百三十八億七千九百萬噸	二、三五
埃國	千六百五十五億七千二百萬噸	二、二五
日本	七十九億七千萬噸	〇、一〇五

(今之を前記九十億噸とするも尙〇、一二%に過ぎず)

其他の諸國計

三百六十八億七千三百萬噸

石炭輸出港としての青島の價值に就て

合計 七兆三千九百七十五億五千三百萬噸
今之を五大洲別にすれば左の如し。

五大洲別埋藏炭量

洲別	埋藏炭量
亞米利加洲	五兆千五百五十二億二千八百萬噸
亞細亞洲	一兆二千七百九十五億八千六百萬噸
歐洲	七千八百四十一億九千萬噸
蒙洲	千七百四億千萬噸
亞弗利加洲	五百七十八億三千九百萬噸
合計	七兆三千九百七十五億五千三百萬噸

(前記、世界各國埋藏炭量及五大洲別埋藏炭量の表は何れも「世界に於ける石炭資源」(Coal Resources of the World)第一卷に依る)

即ち日本の埋藏炭量を約九十億噸とするも尙米國の約四分の一、加奈太の約百四十分の一、支那の約百十分の一を保存するに過ぎざるなり、之を世界埋藏炭量の總計約七兆四千億噸に比する時は僅に八百分の一を賦存するに過ぎず、而して本邦最近一ヶ年の探掘量は平均約三千萬噸なり、今之を世界各國の最近數ヶ年間に於ける平均一ヶ年の石炭産出高の總計約十三億五千萬噸に比する時は約四十五分の一となる、即ち世界總埋藏炭量の僅に八百分の一に過ぎざる少量の炭量を有して而かも年々の産出高は世界の夫れの四十五分の一に達す、依之觀之本邦將來の石炭の命數なるもの亦知る可きのみ、況や本邦に於ける石炭の需要は年と共に益々著しき増加を示しつつあるに於ておや。

本邦一ヶ年の石炭消費高に關し石渡信太郎氏の推定計算に従へば

大正七年に	二千五百萬噸とせば
大正十七年には	五千萬噸

大正二十七年には 八千五百萬噸

大正三十七年には 一億二千五百萬噸

大正四十七年には 一億九千二百二十五萬噸に達す可く即ち

大正五十年には 二億噸

を出ず可しと云へり、即ち此の計算に依れば若し石炭消費の現勢にして變動なくんば今後五十年を出でずして本邦の石炭は採掘し盡さることとなる。

日下部義太郎氏の説に従へば「本邦石炭界の現状を見るに現時出炭の最大量を産する九州炭田の壽命は最も短命にして最早今日の出炭を繼續し得るは今後十年を出でざる可く、其の後には年出炭減少し且つ炭質不良の殘炭を採掘するのみにて、北海道にても石狩炭田の良質炭の壽命は到底三十年を出でずして減少し雨龍、宗谷等の二等炭に移るを餘義なくせらる可し、故に我國の需要の大部分を供給し得る年限は恐らく今後三十年を出でざる可く其の後には今日未知の新炭田發見せらるるに非ざれば内地炭は殆ど二等炭のみとなり、良質炭は之を樺太滿洲支那方面よりの輸入に依るの外なきに至る可しと推測せらる」。即ち我國は如斯石炭の缺乏の爲めに非常なる困難を覺ゆるの時機刻々近づきつゝあるは明白なる所にして今に迄んで畫策施設する所なくんば百世悔ゆるとも及ぶ所なきなり。即ち専ら燃料を研究して極力之が節約を計り、諸礦區諸炭坑等の合併合同を行ひ、亂掘を豫防し、鑛利の保護を計る等極力石炭の壽命延長を講究することの必要なるは論を俟たざる所なれども、更に世界埋藏炭量の約一割三分五厘を保有せる隣邦支那の豊富なる諸炭田を盛んに調査研究し併せて之が輸入の方法をも講じ國家百年の大計を樹つるは實に帝

國存立上最も重大且つ緊急事なりと思惟す、即ち此の見地より曾ては獨逸の殖民地として同國の東洋に於ける唯一無二の策源地にして同時に上海、香港をも凌駕せんとする良貿易港として甚だ殷賑を極め、近くは又我國の占領地として久しく我が統治下にありたる青島の「石炭輸出港としての價值如何」を論ず又甚だ興味なしとせず、予聊か思ふ所を述べて讀者諸兄の御叱正を乞はんとするものなり。

抑も支那の埋藏炭量は前掲の如く亞細亞の總計約一兆二千八百億噸の八割を占めて約一兆噸に垂んとす、而して其の七割強は山西省を中心として直隸省、河南省、陝西省の一部に跨れる所謂山西大炭田に集中せるものにして實に世界全埋藏炭量の殆ど十分の一に相當し本邦總埋藏炭量の約八十倍に相當す、如斯大炭田は未だ曾て世界に其の比を見ざる所にして獨り支那の大富源たるに止まらず實に世界の大富源たるなり、

往年獨人リヒトホー博士(Dr. Ferdinand Freiherrn von Richthofen)は親しく該山西大炭田を踏査の結果其の埋藏炭量を一兆二千五百億噸と計上されしも之は聊か過大なるが如し、「世界に於ける石炭の資源」中にドレーキ教授(Noah Elds Drake, Prof. of geology and mining university of Arkansas)の計上する所に依れば左の如し。

但し左表中の數字は層厚一尺以上、深度四千尺以内に於ける炭層に對して計算されたるものなり、尙參考の爲めに吾地質調査所長井上博士が從來の調査を綜合して計上せられたるものをも附記せり。

支那省別埋藏炭量一覽表

省	Dr. Lee 氏推定埋藏炭量 炭量	井上博士推定埋藏炭量 炭量
山西 (Shan hsi)	七二四、三四〇	七二、五
湖南 (Hu nan)	九〇、〇〇〇	五五四、二〇〇
四川 (Sze Chuan)	八〇、五〇〇	九三、五
雲南 (Yün nan)	三〇、一〇〇	一七、〇〇〇
貴州 (Kwei chau)	三〇、〇〇〇	二、五
直隸 (chih h)	二二、六六八	一五、〇〇〇
河南 (Ho nan)	九、二七五	二、三
山東 (Shan Tung)	七、〇八三	〇、九
甘肅 (Kan su)	五、二一九	〇、七
江西 (Kiang hsi)	三、三九五	六五〇
蒙古 (Mongolia)	一、二〇〇	一、四三五
陝西 (Shan hsi)	一、〇五〇	—
廣東 (Kuang tung)	一、〇〇九	—
廣西 (Kuang hsi)	五〇〇	—
安徽 (an hui)	一八七	—
湖北 (Hu pei)	一一七	三八
福建 (Fu kien)	二五	二七
浙江 (Che Kiang)	二四、七	一二〇
江蘇 (Kiang su)	一〇	二〇〇
埋藏炭量總計	九九六、六一二、七	五九二、一五〇

注意一、井上博士、Dr. Lee 教授は共に、上記見積炭量を寧ろ控へ目に算出せるが爲めに實際は之等の数字より多量となる可きことを附記せり。
 注意二、井上博士推定炭量の内山西省のもの九三%五を占むるは雲南、貴州、蒙古、陝西、廣東、廣西、安徽、東三省等の調査不充分なる爲め、従つて此の表中には加へられざりし爲め總計が實際より少量のものとなりたるによる。

即ち前記の如く世界無比の大寶庫たる山西大炭田を開發し、之を海外に輸出するには天津、青島、浦口、上海の何れに

石炭輸出港としての青島の價値に就て

依るを最も得策とす可きや、之れ重大なる問題にして今假りに天津より輸出するものとせんか、此の地一帯の海岸は名にし負ふ黄河の洪積地帯をなせるが故に港灣の築設に甚だ不適當にして到底石炭港としての任に堪へざる可し、尙此地より北方の諸港は多くは冬季結氷するの缺點ありて之れ又不適當たるを免れず、さりとて上海浦口は其の距離餘りに遠きに過ぐ、然るに青島は曩に獨逸の山東經營時代既に巨億の費用と偉大なる科學の力とを以て完全なる築港となりてより僻地の寒村は化して東亞無比の良港となり、加ふるに山東鐵道（支那に還附後は膠濟鐵路と云ふ）の建設に依りて今や山東半島は化して支那海に突出せる一大棧橋となりたるの感あり、其の結果今は單に同鐵道の延長線の敷設而已によりて七千有餘億噸を埋藏せる山西大炭田の東亞各市場への最捷路となりたるなり。

尙山東省自體が埋藏せる石炭を考ふるに内外諸家の説區々なるも大體に於て左記の如し。

- 一、博山、淄川、章邱諸炭田の埋藏炭量 五億噸乃至六億噸
- 二、嶧縣炭田の埋藏炭量 二億噸乃至三億噸
- 三、新泰炭田の埋藏炭量 三億噸
- 四、蒙陰、沂州、莒州、寧陽、萊無、大汶口、濰縣、坊子等の諸炭田の埋藏炭量 二億噸乃至三億噸
- 合計 十二億噸乃至十五億噸

即ち十二億噸乃至十五億噸と計上するを穩當とす可く之を大局より觀る時は斯く重要なる數字を爲さざるも支那に於ける石炭紀生成の石炭として特質を備へたるものの比較的安んなる供給地として十分考慮に値す可し、而して之等數量の大半は勿論青島を経て海外に輸出さる可きものなるが故に青島は山東省自身が埋藏せる石炭の供給地輸出地として更に又其

背後に控ゆる殆ど無盡藏とも稱す可き山西大炭田の最も便利且つ最も有利なる輸出港として甚だ重要なる意義を有し實に東亞唯一の大石炭輸出港たるの使命を帯ぶるに至れるなり。今之を我國と最も密接の關係ある滿洲炭に於ける大連及營口の位置と比較せんか、滿鐵地質調査所の調査せし所に依れば南滿洲に於ける石炭埋藏量は略次の如し。

- 一、撫順炭田 八億噸
- 二、烟台同 三千八百萬噸
- 三、本溪湖同 一億八千九百萬噸
- 四、牛心台同 二千萬噸
- 五、大疙疸同 千萬噸
- 六、新邱同 一億六千萬噸
- 七、塔子溝同 百萬噸
- 八、五湖嘴同 百八十八萬噸
- 九、大窩溝 ×七千萬噸(×支那技師の調査による)

支那に於ける製鐵原料に就て

予は明治三十年以來支那に遊ぶこと十數回に及ぶ、其の目的は我國に於て利用せんとする製鐵原料の調査を主とせり、其報告は悉く秘密に附せられたれども他人の手に據りて拔萃發表せられたるもの尠からず、後者の中には修正を要するものあれども各鑛産地の詳細なる記事は他日に譲り、今茲には各省に散在せる鑛産地中殊に我國の注意を要するもののみを

合計 十二億八千九百八十萬噸

即ち約十三億噸にして之に今日未知の炭田發見されたる場合を豫想するも尙十五億噸を出でざる可し、即ち山東省内の埋藏炭量と略大同小異にして世界の大寶庫山西の大炭田を背後に持つ青島とは其の價値到底比す可くも非ず、又我が九州諸炭田(全埋藏炭量約三十億噸)に於ける門司、若松、三池長崎等の諸港並に開瀾炭田(埋藏炭量約五億噸)に於ける秦皇島乃至天津に比すれば其の大小輕重は識者を俟つて知るを要せざるなり。

即ち如斯石炭輸出港として青島の將來は甚だ洋々たるものあり、殊に我國に取りては最も重要なる意義を有するものと信ずるが故に現今邦人間に比較的等閑に附せられつつある此の方面に向つて特に識者の注意を望むや切なり。

西和田久學

就て大體の卑見を述ぶるに止めんとす。

一、鐵鑛

支那には鐵鑛産地甚だ多し、既知鑛種は磁鐵鑛、赤鐵鑛及び褐鐵鑛の三種に大別せらるべきも主要なるものは磁鐵鑛及び赤鐵鑛又は兩種の混合物なり。

山東省に於ては山東鐵路沿線に金嶺鎮及び張店の磁鐵鑛床